

登録コード	TSS09505	開講年度	2026					
授業科目	機械物理特別実験Ⅰ					担当教員	吉田 尚史	
英文授業名	Advanced Laboratory Work in Mechanical Physics 1					副担当		
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	機械システム工学分野1年生	
講義室				授業形態	実験	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ							
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					⇔	機械物理の基礎に関する文献調査と英語学術論文輪講の実施、および得られた情報に基づくプレゼンテーション・グループ討論を通じて、幅広い見識と健全な倫理観を持って機械物理に関する研究を展開できるようになる。	
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力					⇔	機械物理に関する数値実験と実地実験ができるようになる。	
(2)授業の概要	ゼミナール形式で機械物理の応用に関する演習を実施する。実施形態は集中講義形式にて実施し、前期集中20時間、後期集中20時間、の合計40時間の演習を実施する。							
(3)授業計画	第1回（前期集中5時間、1コマ2時間×1日2.5コマ）：ガイダンス、応用演習・解説 第2回（前期集中5時間、1コマ2時間×1日2.5コマ）：機械物理（熱・流体工学）応用文献調査演習 第3回（前期集中5時間、1コマ2時間×1日2.5コマ）：機械物理（熱・流体工学）実用化演習 第4回（前期集中5時間、1コマ2時間×1日2.5コマ）：グループワークショップ 第5回（後期集中5時間、1コマ2時間×1日2.5コマ）：機械物理（熱工学）応用プレゼンテーション演習 第6回（後期集中5時間、1コマ2時間×1日2.5コマ）：機械物理（流体工学）応用プレゼンテーション演習 第7回（後期集中5時間、1コマ2時間×1日2.5コマ）：機械物理（熱工学）英語応用学術論文輪講・解説 第8回（後期集中5時間、1コマ2時間×1日2.5コマ）：機械物理（流体工学）英語応用学術論文輪講・解説 最終プレゼンテーション・討論							
(4)成績評価の方法	レポート50点、プレゼンテーション・討論50点、の合計点で評価する。90点以上を秀、80点以上90点未満を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可とする。							
(5)成績評価の基準								
(6)事前事後学習の内容								
(7)履修上の注意	全回出席が原則である。予習は必須である。							
(8)質問,相談への対応	オフィスアワー中はいつでも受け付ける。オフィスアワーは掲示板参照。それ以外の時間でも可能なら受け付ける。							
(9)その他								
【教科書】	適宜プリントを配布する。							
【参考書】	Transactions of the ASME 日本機械学会論文集B編							